



# 黄金ガエルちゃんさようなら!



中学部の教室で飼育していたアルビノのアマガエルを国数理社 D グループのメンバーですさみ町にあるエビとカニの水族館に寄贈してきました。D グループでは、白いオタマジャクシのときから黄金色のアマガエルになるまで絵を描いたりして観察を行ってきました。黄金ガエルが水族館にいくと決まってからみんな「さみしい」と言っていました。

エビとカニの水族館にカエルを寄贈した様子を紹介します。

紀伊民報の新聞に載りました。



館長さんに「大切に育ててください」とあいさつをしました。



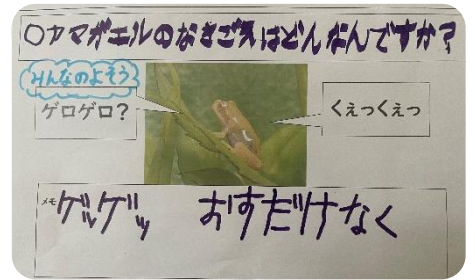
アルビノのアマガエルの入ったケースを渡しました。



カエルへのメッセージを1人1人書いたので渡しました。



アルビノのアマガエルについて学校で考えてきた質問をしました。「アマガエルのなきごえはどんなんですか?」や「なんさいまでいきますか?」など質問をしました。館長さんが丁寧に教えてくれたので、みんな一生懸命メモをしました。



ヒキガエルやカジガエルの鳴き声も教えてくれました。



大人のアマガエルはかなり大きくてみんなビックリしました。



最後にウミガメのエサやりもしました。パクパクたくさん食べてくれました。

エビとカニの水族館では梅雨が明けるまで特別展示として展示され、梅雨が終わったら館内のどこかで展示してくれるそうです。見に行ったらまた教えてください!